

9月市議会定例会

一般質問

9月13日(火)から9月15日(木)の3日間の日程で、10人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介しています。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

9月13日(火)

自民クラブ(代表質問)
永易 英寿議員(40分)



- (1) 市長の政治姿勢について
- (2) 防災における地元企業の地域貢献について
- (3) 新居浜太鼓祭りの新型コロナウイルス感染症対策について
- (4) 道路網整備促進について
- ① 川東地区の渋滞解消
- ② 宇高西筋線の事故多発交差点

③ 架橋後60年の敷島橋の改良

問 児童の通学路でもある敷島通りにおける宇高西筋線交差点の事故発生件数と対策は。平和

通りにおける宇高西筋線交差点の右折レーンの整備は。また、架橋後60年の敷島橋の調査と架け替えの時期は。

答 平成30年から令和4年8月までの事故件数は、人身事故が5件、物損事故が約60件であり、抜本的な解消のために、まずは都市計画決定の変更手続きに取り組む。また平和通りにおける宇高西筋線交差点の右折レーンについては、沿道関係者の合意があれば、設置を検討すると県からは聞いている。敷島橋は、令和元年度に法定点検を実施し、早期に措置すべき状態と判定されており、架け替えを含めた検討を進めていく。

(5) 小中学校の適正規模、適正配置について

問 今年度策定の小中学校の適正規模、適正配置の基本計画、または個別計画で、特に小規模校存続などについて、保護者への説明やアンケートは実施しないのか。また、学校を中心とした地域コミュニティづくりへのご所見は。

答 学校規模の適正化を検討する上で、保護者の意見などが重要と考えているため、各校の個別計画策定の際にアンケート調

査を実施するとともに丁寧な説明に努めたい。また、学校が地域住民の交流拠点としての役割を果たすことで、地域コミュニティの維持、向上につながることを認識している。

- (6) ワンストップ福祉総合相談支援体制の構築について
- (7) 誰一人取り残さないまちづくりについて
- ① 少年非行への対策と支援
- ② 不登校の児童生徒への支援
- ③ 拡充
- (8) 四国一子育てしやすいまちの実現について
- (9) 家庭ごみの一部有料化について

公明党議員団(代表質問)
高塚 広義議員(40分)



- (1) SDGs 推進に向けた取組について
- (2) 新型コロナウイルス感染症について
- ① ワクチン接種
- ② 小中学校の感染拡大防止
- ③ 自宅療養者の相談窓口
- (3) 医療費の適正化について
- ① 糖尿病の重症化予防
- ② 高齢者の保健事業と介護予防

(4) 民生委員、児童委員について

問 民生委員、児童委員は地域福祉に欠かすことができない人々であるが、近年はなっていないだけの人が少ない状況である。今後、他市の取り組みを参考に、担い手の育成や安心して活動できる環境整備を行うべきではないか。

答 担い手不足、在任期間の短期化、住民認知度の低下など、民生児童委員制度を維持する点での大きな課題に対し、委員の意見の反映や他自治体の情報収集に努め、実施可能な事例は積極的に取り入れたいと考えている。

- (5) 共生型サービスについて
- (6) 防災、減災について
- ① 気象庁との連携による地域防災力の強化
- ② I-Tを活用した防災対策

問 大規模な災害時、自分が避難する場所はどこなのか、被災状況の現状、物資の確保などについて、市民に素早く伝達することが重要だと考える。本市でのI-Tを使った情報伝達の取り組みについて伺う。

答 市公式LINE、フェイスブック、ツイッターなどのSNSを活用し、円滑、迅速な情報伝達手段の確保に努めている。

市公式LINEでは、避難情報や気象などに関する緊急情報のほか、安否確認機能などを有している。

(7)ICT化における子供への配慮について

(8)不登校特例校の設置推進について

新居浜の未来を考える会
(代表質問)
篠原 茂議員 (40分)



(1)地域コミュニティは将来何を指すかについて

①協働のまちづくりSDGsの制定

②公民館のコミュニティセンター化

問 市は公民館のコミュニティセンター化を目指しているが、何をどう変えようとしているのか、その理念や役割はどう変わるのか。

答 コミュニティセンターは地域住民の交流の場、地域の主体的な学びの場、地域の情報収集および発信の場としての機能を備えたものを想定しており、「地域のことは地域で決める、地域で取り組む」を理念とした新しい地域運営組織の拠点にしたいと考えている。

③公民館の所管変更

(2)放課後まなび塾について
(3)不登校、いじめについて
(4)環境にやさしいまちづくりについて

①資源ごみ減量化
②新居浜市西部学校給食センターでのSDGsの取組

(5)技能実習・特定技能制度による外国人も含めた人材確保の推進について

(6)工業用地の確保について

①民間工業用地
②新居浜市企業立地促進土地所有者奨励金

問 事業概要は、企業立地のため土地を売却される土地所有者に奨励金を支給する制度だが、土地所有者、市内外への企業に対してPR不足ではないか。令和2年度からの奨励金の交付実績はどの程度か。

答 土地所有者には、宅建協会新居浜支部の支部会で制度の周知を行い、市内外の企業には、未利用地等登録台帳の登録情報を積極的に発信することが新たな企業立地につながるため、引き続きPRに努める。本奨励金は、台帳への登録から奨励金交付まで一定期間を要するため、交付実績は無い。

9月14日(水)

自民クラブ
大條 雅久議員 (30分)



(1)学校の現況について

①教員の配置

問 校務支援システム活用や校内情報のデジタル化推進などによる教え方や教材活用の共有ならびに教員の勤務時間、残業時間管理など、学校教育現場の働き方改革は進んでいるか。

答 デジタル教科書などを活用した授業の実施や、校務用パソコンによる出勤管理を行い、勤務時間のデータ収集をするなど、教員の業務量削減を図っている。時間外勤務時間には大きな変化はないが、子どもたちと向き合う時間の確保は図られ、働き方改革につながっている。

②中学校の部活動

③国が進める部活動の地域移行と市の取組

問 休日の部活動を手始めに地域移行する試みが令和5年度から始まることだが、市は中学校の部活動地域移行について今後どのように進める考えか。

答 教育委員会において、今後

(4)投票率の向上について

の進め方を決定することが重要であり、移行に当たっては、財源の確保や人材の確保などの課題があるため、国や県の動向を注視しながら、教育委員会や関係機関などと連携して取り組む必要がある。

(2)市公式LINEの活用について
(3)ごみ減量の施策について

①目的と手段

公明党議員団
藤原 雅彦議員 (30分)



(1)市政運営について
(2)学校の適正規模、適正配置について

問 公立小中学校の危険箇所把握、点検はどのように実施されているのか。また、非構造部材の耐震対策がどのようになっているのか。

答 建築基準法に基づき、3年ごとに定期点検を行い、危険箇所の把握を行うほか、各学校においても日常的に点検を行い、劣化状況に応じた修繕、改善を行っている。非構造部材の耐震対策は、全ての学校で平成28年度までに完了している。

(3)公共交通空白地域の取組について

問 11月には知事選、来年4月には統一地方選挙が予定されている。これらの選挙において、マルチタスク車両を移動期日前投票所として活用することについて検討されているのか。

答 11月執行予定の愛媛県知事選挙において、新居浜南高等学校敷地内に試験的に移動期日前投票所を設置する準備を進めており、設置に際し、マルチタスク車両を活用することについても協議を進めていきたいと考えている。

(5)子供へのワクチン接種について
(6)不審者情報について
(7)プラスチック資源循環促進法について

無党派
井谷 幸恵議員 (10分)



(1)統一協会について
①統一協会の活動に対する認識
②被害実態の把握
③過去の関わり
④今後の関わり

(2)新居浜市西部学校給食センターの建設延期について
①広い敷地の活用
②ボーリング調査

③今後の方向性
④物価高騰対策について
①市民の暮らし向きと支援策

無党派
小野 志保議員 (10分)



(1)DV対策について
①シエルトアの必要性
②連携体制
③中長期的支援
④外国人、障害者の相談体制
⑤二次受傷
⑥啓発

9月15日(木)

自民クラブ
白川 誉議員 (30分)



(1)人口減少対策について
①若年女性に選ばれる地域

問 転出超過が最も多い若年女性に選ばれる新居浜市に向けて、市外へ出さないのではなく、市外へ出ても帰ってきてもらう視点で、働きたくなるような仕事を作るなど有効な施策について、どのように考えているのか。

答 女性に見合った仕事づくりは、女性が自分らしさを大切にしながら、誇りを持って働ける

環境づくりが重要であるため、そうした視点を踏まえ取り組みを進めていきたい。

②教育予算増額と財源のシフト
①松竹梅の予算編成
②DX推進による人件費の推移

(2)財源確保について
(3)行政改革大綱について
(4)情報発信について
(5)マンダラチャートを利用したまちづくり人材の育成について

問 大谷翔平選手が高校1年生の時に目標達成シートとして活用したマンダラチャートを、新居浜市のまちづくり目標を中心に置き、まずは市役所職員から取り組めないか。縦割り行政の脱却、部局間連携促進にもつながるのでは。

答 市役所職員においても、マンダラチャートを活用することで、目標達成の全体像が把握できたり、ゴールに到達するためにしなければならぬことを理解したりするなどの効果が期待できると考えている。自己分析や人材育成につながるツールとして活用することも考えられるため、参考にしたい。

自民クラブ
越智 克範議員 (30分)



(1)新型コロナウイルス感染症対策について
①カーボンニュートラル
②カーボンニュートラルポイント

(2)環境エネルギー政策について
(3)デジタル田園都市国家構想の推進について
(4)コミュニティの再生について

問 昨年度、新居浜市地域コミュニティ基本方針を策定し、市民と行政が協働して地域を支え合うモデルをつくるため、宮西校区と中萩校区で実施している事業について、成果と課題を説明願う。

答 成果としては、今まで拾い切れなかった住民の声や地域の課題について把握でき、またワークショップでの協議により、地域とのつながりの大切さや地域住民全体への情報発信の重要性が共通認識された。課題としては多様な団体や幅広い世代の参画など、後継者などの人材確保の難しさが挙げられる。

(5)企業版ふるさと納税について
(6)教育関連施策について



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

問 被災時に支援を要する高齢者などの個々の状況に応じ作成すべき個別避難計画について、庁内の検討委員会や地域調整会議の進捗状況は。障害者などの福祉避難所への直接避難に向けた取り組み状況は。

答 (1)防災力向上の進捗状況について

新居浜の未来を考える会
米谷和之議員(30分)



新居浜市通学路安全対策連絡協議会を開催し、危険箇所を把握および効果的な対策の検討を行っている。昨年度時点での危険箇所は56カ所、その結果を交通指導員に情報を提供し、情報共有を図っている。今後も関係機関などと連携しながら、一層の通学路の交通安全の確保を図っていく。

①教師不足への対応と休日の中学校部活動の地域移行
②通学路の交通安全の確保
問 千葉県八街市の通学路における死傷事故を受け、国が通達した緊急合同点検の要請を受け、新居浜市の点検体制、点検結果、ならびにこの結果を受けた今後の交通安全に対する取り組みについて説明願う。

問 オンデマンドシステムプラットフォーム導入について、どのような情報発信を行い、その主たる対象者は。どのくらいの利用者が期待できるのか。今後の予定はどうか、伺う。

答 まずデマンドアプリと公式LINE及びあかがねポイントと連携し、一元的に情報発信する。主たる対象者は高齢者であり、川西地区での年間利用者数は、延べ3千200人程度を想定している。引き続き交通事業者などとの細かい調整を行い、12月の川西地区のデマンドタク

答 検討委員会は、昨年度3回開催し、新居浜市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画を改定した。地域調整会議は、立ち上げに関係部局との意見調整に時間を要しているため、できる限り早く検討委員会での具体的な協議を進めていく。また福祉避難所への直接避難に向け、施設との協議に至っていないため、所管している福祉部門と協議を進め、受け入れができる体制の準備に努力する。

①デマンドタクシーの新たな試み
答 検討委員会は、昨年度3回開催し、新居浜市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画を改定した。地域調整会議は、立ち上げに関係部局との意見調整に時間を要しているため、できる限り早く検討委員会での具体的な協議を進めていく。また福祉避難所への直接避難に向け、施設との協議に至っていないため、所管している福祉部門と協議を進め、受け入れができる体制の準備に努力する。

②現状を見据えた地域公共交通の推進について

答 検討委員会は、昨年度3回開催し、新居浜市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画を改定した。地域調整会議は、立ち上げに関係部局との意見調整に時間を要しているため、できる限り早く検討委員会での具体的な協議を進めていく。また福祉避難所への直接避難に向け、施設との協議に至っていないため、所管している福祉部門と協議を進め、受け入れができる体制の準備に努力する。

12月市議会定例会

時間 午前10時開会
本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内容
12月6日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託、決算特別委員長報告、討論、採決
12月13日(火)	一般質問 近藤 司 議員 (30分) ・予算質疑 黒田 真徳 議員 (30分) 神野 恭多 議員 (30分)
12月14日(水)	一般質問 合田晋一郎 議員 (30分) ・予算質疑 井谷 幸恵 議員 (10分) 小野 志保 議員 (10分) 小野 辰夫 議員 (30分) 藤田 幸正 議員 (30分)
12月15日(木)	一般質問 片平 恵美 議員 (10分) ・予算質疑 河内 優子 議員 (30分) 田窪 秀道 議員 (30分) 伊藤 謙司 議員 (30分)
12月16日(金)	企画教育委員会開催 経済建設委員会開催
12月19日(月)	市民福祉委員会開催
12月22日(木)	委員長報告、討論、採決

令和3年度決算認定議案の審査のため、10月25日(火)から28日(金)までの間、決算特別委員会を開催しました。25日(火)は令和3年度実施事業に係る市内9カ所の現地調査、26日(水)から28日(金)までは決算の認定審査に係る質疑および採決を行いました。

シールド運転および年度内のシステム完成に向けて取り組む。

決算特別委員会
開催報告

議事課
FAX ☎ 65 65
1 3 2 2



決算特別委員会現地調査
(体育施設環境整備事業)